

大東文化大学経営研究所所報

No. 46 2022 年 3 月

目 次

所長巻頭言	所長 ダレン・マクドナルド ...	1
経営研究所の活動報告 (2021 年度)	研究部会長 清水 真人 ...	2
研究員の活動報告		3
研究員紹介		7

所長巻頭言

経営研究所長 ダレン・マクドナルド
Darren M. McDonald

Just over two years have passed since Japan confirmed its first case of COVID-19 in Japan. Since this time, Japan has gone through five waves of infections, and we are now in the sixth wave with the new variant Omicron. The length of the pandemic has forced company management to rethink the notion of the 'place' in work.

For companies fortunate enough to be able to do work online, decisions are being made between balancing the work online with work that can only be done in physical places with face-to-face interactions. These decisions have seen a rise in various forms of work styles and management systems in place to support these styles of work.

This situation has created both barriers and opportunities in doing research in management studies. Access to physical brick-and-mortar places of work has been extremely limited. The focus of research has undergone change. This situation has given rise to new and innovative methods of conducting research. The Institute of Business Research at Daito Bunka University has taken up the challenge to support this research in ways not done before.

経営研究所の活動報告（2021 年度）

研究部会長 清水 真人

1. 研究会活動

2021 年 4 月 27 日（火） 第 1 回研究部会

2021 年 5 月 25 日（火） 第 2 回研究部会

2021 年 6 月 29 日（火） 第 3 回研究部会

2021 年 10 月 26 日（火） 第 4 回研究部会

2022 年 1 月 25 日（火） 第 5 回研究部会

なお、第 2 回、第 3 回において以下の会員による研究発表をおこなった。

2021 年 5 月 中村隆文

2021 年 7 月 佐藤史子

2. 外部研究者招聘による講演会

外部の専門家を招聘し、ダイバーシティをテーマにした 2 回の講演会を実施した。

2021 年 10 月 大原みれい氏（（株）日通総合研究所 主任研究員）「物流業界に求められる働き方改革 ～女性と高齢者（シニア層）の活躍推進～」

2022 年 1 月 ロバーツ・グレンダ氏（早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科 教授）「LEANING OUT FOR THE LONG SPAN WHAT HOLDS WOMEN BACK FROM PROMOTION IN JAPAN?」

3. リサーチペーパー

W-78 五十嵐 正毅「広告におけるユーモアの受容に関する今後の研究課題」

W-79 松崎 友世「大学生が望むリーダー像とジェンダー・ステレオタイプとの関係」

研究員の活動報告

五十嵐 正毅

【論文】

1. 五十嵐正毅「広告におけるユーモアの受容に関する今後の研究課題」『Research Paper』（大東文化大学経営研究所），No.W-78, 2021.
2. 中野香織・五十嵐正毅・松本大吾「子どものYouTube視聴実態とYouTubeに対する親の評価—おもちゃ紹介動画とキッズユーチューバーに着目して」『日経広告研究所報』，第318号，pp.32-39, 2021.

【その他】

1. 五十嵐正毅「『WARC GUIDE』から 広告アテンションの真のコストとは (Mike Follett)」『広研レポート Online』，2021 年 4 月号，2021.
2. 五十嵐正毅「BOOK REVIEW 佐藤可士和著『佐藤可士和の対話ノート』」『日経広告研究所報』，第316号，p.76, 2021.
3. 五十嵐正毅「BOOK REVIEW 伊藤公一著『なんだ、けっきょく最後は言葉じゃないか。』」『日経広告研究所報』，第317号，p.60, 2021.
4. 五十嵐正毅「BOOK REVIEW 鹿毛康司著『「心」が分かるとモノが売れる』」『日経広告研究所報』，第319号，p.68, 2021.
5. 五十嵐正毅「『WARC GUIDE』から これからのために過去に立ち返ろう：良質なメディアは広告を救う (Matt Rivitz)」『広研レポート Online』，2021 年 11 月号，2021.
6. 五十嵐正毅「GAFA 台頭によるこれからの広告と研究に向けて」パネルディスカッション指定登壇者，日本広告学会第52回全国大会（関西大学／オンライン開催），2021 年 11 月 20 日.

國府 俊一郎

【論文】

1. 國府俊一郎「正社員の多様な勤務区分制度を持続的に運用していくには」『経営論集』第41号，大東文化大学経営学会，pp.27-40, 2021 年 3 月.
2. 國府俊一郎「最近の台湾の賃金事情—市場と政策による賃金上昇—」『連合総研レポート (DIO)』，第34巻第10・11号通巻370号，公益財団法人連合総合生活開発研究所，pp.20-26, 2021 年 11 月.

【書評等】

1. 國府俊一郎「隣国台湾の事情に映して見る日本女性の労働と家庭、少子化の問題(寺村絵里子編著『日本・台湾の高学歴女性』書評)」図書新聞第3497号，第5面，2021 年 5 月 29 日.

【学会発表】

1. 國府俊一郎「和洋中織り交ぜた台湾的雇用慣行の模索」
労務理論学会第30・31回全国大会、統一論題（於福岡大学：オンライン開催）2021 年 6 月 27 日.

佐藤 史子

1. Sato, Fumiko, 'Representations of Japan by Two Popular Victorian Writers', 『経営論集』，NO.41, pp.41-50, 2021.

ウィリアムソン・ジョーゼフ

【論文】

1. Williamson, J., "What should we call each other? A negotiation of nominal address between an American official and a Japanese businessman", Journal of Intercultural Communication, 24, pp.1-17, 2021.
2. Williamson, J., "Strategic workplace small talk in business English: What is it and how well do Japanese businesspeople do it?", Bulletin of Daito Bunka University, 59 (Humanities), pp.21-37, 2021.

【学会発表】

1. Williamson, J., "Discursive leadership in ELF decision-making meetings", The 36th Annual Conference of SIETAR Japan (Online). Worldwide, November 27-28, 2021.

白井 康之

【日本語論文】

1. 白井康之, 森田裕之, 後藤裕介, 河合亜矢子, "Satisfice の発生を考慮した信頼性評価に基づくアンケート分析手法の提案", 経営科学系研究部会連合協議会 データ解析コンペティション最終報告会, 2021 年 3 月 15 日
2. 河合亜矢子, 白井康之, 森田裕之, 後藤裕介, "利用者目的と提供サービスの多様性を考慮したサービス評価に関する研究", 日本経営工学会 2021 年 春季大会, 2021 年 5 月 15 ~ 16 日
3. 後藤 裕介, 白井 康之, 森田 裕之, 河合 亜矢子, "Web 調査における回答者の Satisfice に関する影響", 経営情報学会 2021 年全国研究発表大会, 2021 年 11 月 13 ~ 14 日 (武庫川女子大学)
4. 後藤 裕介, 市川尚, 白井康之, 森田裕之, "経済支援政策分析のための社会シミュレーション基盤にむけて (Work in Progress)", 計測児童動制御学会 システム・情報部門学術講演会 SSI2021, 2021 年 11 月 21 日

清水 真人

【日本語論文】

1. 清水真人, 岩尾詠一郎, 土井義夫「ネット通販等における自宅以外の受け取り場所の選択に関する研究 ～アンケートの結果から～」『第 38 回 日本物流学会 全国大会 研究報告集』, pp.129-132, 2021. 2021 年 9 月 18 日 (オンライン)

【和書】

1. 苦瀬博仁 [編著], 岩尾詠一郎, 味水佑毅, 飴野仁子, 李志明, 石川友保, 長田哲平, 渡部幹, 清水真人「ロジスティクス概論【増補改訂版】」白桃書房, 2021

【その他】

1. 岩尾詠一郎, 苦瀬博仁, 杉山雅洋, 森本章倫, 長田哲平, 渡部幹, 古明地哲夫, 森尾淳, 大門創, 峯猛, 内田大輔, 長谷川翔生, 椎名主税, 石川友保, 清水真人, 味水佑毅「生活様式の変化が物流システムに与える影響に関する研究」
公益社団法人日本交通政策研究会 2021 年 12 月

高沢 修一

【日本語論文】

1. 高沢修一「韓国財閥の特許権侵害及び不正会計を巡る問題点の検討 ―特許法及び不正競争防止法の改正と外部会計監査の有用性―」『経営論集』No.42-43, pp.83-95, 2022年3月.

高屋 康彦

【日本語論文】

1. 高屋康彦「海成段丘面に形成されたカメニツァの形態的特徴―徳之島, 犬の門蓋の例―」『経営論集』第41号, pp. 117-126, 2021.

ダレン・マクドナルド

【研究ノート・Research Notes】

1. McDonald, D. M. (2021) 「Roles & Skills of the Diversity Manager in Japan: Development of a Research Study Framework」『経営論集』(大東文化大学経営学会)、第41号、pp.127-134, 2021年3月.

永田 清

【口頭発表】

1. 永田清「Eclipse 統合環境における PARI Library を使った C プログラミングとその応用」第9回国際 ICT 利用研究会研究会 (2021年3月21日), 講演論文集, ISSN 2432-7956, pp. 58-71

中村 隆文

【著書】

1. Nakamura T. Meta-methodology for Risk Management. In: Metcalf G.S., Kijima K., Deguchi H. (eds) Handbook of Systems Sciences. Springer, Singapore. https://doi.org/10.1007/978-981-15-0720-5_48, pp 185-216, 2021

【論文】

1. 中村隆文 (2021) 「システムの安全性を促進する方法論の提案と ICT システムへの適用」『経営論集』第42・43号、pp.75-94、2022年3月

【口頭発表】

1. 「危機管理から学ぶ ICT システムの安全性を促進する方法論」
経営研究所第2回研究部会、5月
2. 「Collaboration Examples ~Fujitsu's case~」
IMPM (International Masters Program for Managers) , cycle23, Panel Speech, May 2021.

樋渡 淳二

1. 樋渡 淳二「金融機関のリスクマネジメント―定量的リスク管理と定性的リスク管理のあり方及びシナリオ分析の必要性―」『リサーチペーパー』No.W-77 大東文化大学経営研究所 2021年3月

梶屋 聡

【論文発表】

1. Satoshi Masuya, “An Approximated Shapley Value for Partially Defined Cooperative Games”, J. Watrobski et al. (eds): Knowledge-Based and Intelligent Information & Engineering Systems, Procedia Computer Science 192, Elsevier, pp. 100-108, 2021.

【口頭発表】（以下全てオンラインでの発表）

1. Satoshi Masuya, “An Approximated Shapley Value for Partially Defined Cooperative Games”, 25th International Conference on Knowledge-Based and Intelligent Information & Engineering Systems, Poland, September, 2021.
2. Satoshi Masuya, “Two Axiomatizations of the Shapley Value of the Lower Game for Partially Defined Cooperative Games”, The 6th World Congress of the Game Theory Society, Hungary, July, 2021.
3. M. Josune Albizuri, Satoshi Masuya and Jose M. Zarzuelo, “An Extension of the Shapley Value for Partially Defined Cooperative Games in Partition Function Form”, The 15th International Conference on Game Theory and Management, Russia, June, 2021.
4. 梶屋聡, “不完備情報協力ゲームの下限ゲームに対する Shapley 値の公理化”, 京都大学数理解析研究所研究集会「不確実環境下における意思決定数理の新展開」, 京都, November, 2021.

松崎 友世

【学会発表】

1. 「昇進意欲に影響を及ぼす要因の検討」, 産業・組織心理学会第 36 回大会, 同志社大学（オンライン開催）, 2021 年 9 月 5 日

山田 敏之

1. 十川廣國・山崎秀雄・遠藤健哉・山田敏之・周 炫宗・横尾陽道「共創を促す組織の能力」『武蔵大学論集』, 第 68 巻, 第 1 号, pp.43-63, 2021.
2. 山田敏之「IoT イノベーションの創造と個人レベルの両利き戦略」『戦略研究』, 第 28 号, pp.51-79, 2021.
3. 山田敏之「個人レベルの双面性とイノベーション創造：従業員の双面的行動と双面的リーダーシップの役割」実践経営学会第 63 回全国大会（東京都立産業技術大学院大学:web リモートオンライン）, 2021 年 3 月 7 日
4. 山田敏之「個人の双面性メカニズムにおけるクロスレベル分析：先行要因、媒介要因、モデレータ要因、成果要因の解明」実践経営学会第 64 回全国大会（亜細亜大学:web リモートオンライン）, 2021 年 9 月 12 日
5. 山田敏之「書評 オライリー & タッシュマン著『両利きの経営：「二兎を追う」戦略が未来切り拓く』」『戦略研究』, 第 29 号, pp.147-153, 2021.

研究員紹介

所 長 ダレン・マクドナルド
部 会 長 清水真人
専任研究員 青木幹喜 五十嵐正毅 国府俊一郎 崔 冬梅 佐藤史子 清水真人
ジェームス・マクロステイー 首藤禎史 ジョーゼフ・ウィリアムソン
白井康之 白坂 亨 高沢修一 高田茂臣 高屋康彦 永田 清
中村隆文 南隅基秀 長谷川礼 樋渡淳二 福井庸子
ダレン・マクドナルド 榊屋 聡 松崎友世 水谷正大 山崎雅教
山田敏之 山口貴史 山口由二 渡邊直人
客員研究員 内山研一 片岡泰彦 谷郷一夫 中村雄貴 仁井田典子 橋本寿哉
フン・ディン・チョン 前川邦生 松尾敏充 北野 康 戴 秋絹

大東文化大学経営研究所所報 No. 46

2022 年 3 月 31 日 発行

編集発行 © 大東文化大学経営研究所

印刷 株式会社 サンワ

〒 102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-11-8

(03) 3265-1816 (Tel)

(03) 3265-1847 (Fax)